

10月になると、山下集落では豊祭(豊年祭り)の準備が始まる。小学校の運動会が

済んだら、山下・水流太鼓踊りの稽古が毎晩、山下公民館の前庭で行われ、秋の夜空に鉦や太鼓の音が響いている。これが私の幼少の頃からの秋の夜の風景だ。太鼓踊りは郷土に根差して長い間、多くの人々の協力により伝承されてきた故郷の宝。幾多の時代を経て語り継がれ、踊り継がれてきた郷土のすばらしい文化である。

稽古の初日は、踊り子や役員、世話役など多くの人々の手により、太鼓の組み上げが行われる。



【豊祭の日程】10月28日(日)/南方神社、29日(月)/妙見神社
午後1時～ (山下・水流太鼓踊り、東鹿奄太鼓踊り、山口棒踊り)
■五穀豊穣に感謝する豊祭。そこで奉納される太鼓踊りは、慶長(1596～1614年)のはじめ、薩摩・島津氏の第17代当主、島津義弘がたびたびの出陣に、兵士の士気を鼓舞するために踊らせたのがはじまりであると伝えられている。

その後、鉦や入鼓、花笠などのチエックを終えると、踊り子の稽古用のテコンベ(稲わら製のバチ)を人数分つくり準備完了。その夜は一庭(一圃)だけの稽古となる。皆、1年ぶりに踊れることへの、それぞれの思いが込み上げてくる。稽古が終わると、公民館で祭の本番へ向けての気持ちや意気込みを語りながら焼酎、ビール、お茶やつまみを囲んでの小さな反省会となり、老いも若きも入り乱れ、にぎやかで和やかなひとときを過ごす。そこでの話は、集落の活性化に関する話題にまで及ぶ。それから約3週間あまり、毎日の稽古を重ねて、豊祭の当日を迎えることになる。

郷土の宝、太鼓踊り ～山下・水流太鼓踊り



竹中和幸
たけなか かずゆき
1946年生、鹿籠町。平成19年から山下・水流太鼓踊り保存会代表。太鼓踊りは小学2年生で入鼓、5年生から39歳まで鉦打ちを務める。現在は後継者の育成・指導に力を注ぐ。

▼太鼓踊りの維持・継承には踊り子の確保や育成指導、備品の整備をはじめとした環境整備等々、たくさんの人々の物心両面にわたる協力が欠かせない。ときには大変な苦勞を強いられることもあるが、太鼓踊りは地域の連帯感を生み、活性化の原動力になっている。代々受け継がれてきた伝統芸能「太鼓踊り」をこれからも継承していき、明るく住みよい地域社会の健全な発展に寄与していきたいらと思っている。



▲鉦打ちを務める息子、達郎さんの撞木(鉦を打つ丁字形の棒)を交換する竹中さん(2006年)。竹中さん思い出の1枚だ。

クイズ! カツオドリ



【先月の答え】④寿老人

■今年も11月に「枕崎カツオマイスター検定」が開かれるようですので、カツオに関する基本的な問題です。カツオは分類学上何科に属する魚でしょうか?

- ①サバ科 ②マグロ科
- ③スズキ科 ④カツオ科

今月のプレゼント



■白波の原酒を蔵元の割り水にて12%の逸品。アルコール分1・8%

白波蔵割り (5名様)
【提供】薩摩酒造株式会社

お便り紹介

朝晩すっきり寒くなってまいりましたが、皆様におかれましてはつつがなくお過ごしでしょうか? 枕崎って、芸達者な人が多いですよ。バンドも沢山あるし、芸能活動をしている人もいます。この人口規模でこの人的資源はすごいと思います。そういえば、飲食店のレベルもすごく高いし、美術館はあるし、焼酎はうまいし。枕崎恐るべし。そんな枕崎で日々、楽しく生活させていただいております。(緑町・もほこボンバイエ・42・男性)

もほこボンバイエどん、カツオドリもつつがなく過ごしちゃいもんど。先日、南溟館の広場で行われた枕崎商工会議所青年部どん主催の音楽祭も元気があって良かったなあ。小学生のピアノ隊も芸達者で、未恐ろしかな枕崎、ち思い方こわした。こん素晴らしか魅力を市外の方にも知って貰って、オモシトかコマーションを作る

カツオドリの気ままに一本釣り

食欲の秋ですね。先日っだ、カイモ掘り行けだっきもした。おバシをこさえだ、ガネにすつとも良かとして、今回掘ったカイモは南薩まの駅オリジナル焼酎『天地一杯』の原料用ごわした。新酒のうんまか季節だっどん。呑ん過ぎって天地がひっくり返らんごつ、染すっ酔いもんそな。こげな調子で皆さまからの お便り待っちょっど!



いつも読んで楽しんでます。身近な人の名前があったりして、読むのが楽しいですよ。(住吉町・80・女性)

あいがともさげもす。知っちよしいが載っていることが多くて嬉しかったが、市報の良がとこいだらえなあ。皆さん市内のイベントにデバって、広報カメラマンの前でニコっち笑えば、いつか表紙を飾る日が来っこだしれんですよ。

- ★応募方法 ハガキもしくはメールにて、氏名・ペンネーム・住所・電話番号・年齢・性別・クイズの答え・本紙へのご意見やご要望、枕崎への想いや身近にあった出来事などを記入の上応募ください。いただいたお便りは、ご紹介させていただく場合があります。文章は添削させていただきます。
- ★応募先 〒898-8501 枕崎市千代田町 27 番地「枕崎市役所総務課秘書広報係」宛
E-mail: koho@city.makurazaki.lg.jp
- ★応募締切 10月31日(水) ※当日消印有効
- ★当選発表 当選者には総務課秘書広報係から連絡します。賞品を同係まで取りにきてください。
- ★問合せ 総務課秘書広報係 TEL72-1111(内線211)

枕崎弁「すんくしら狂句」

●兼題(見送書)
遠見番 息がきるいころ 開閘岳 (テメガケ・岩戸町・72歳)
(唱) 火のかんさあが 背を押せつくれやんそ
朝夕、2回、遠見番の坂を自転車を押し上げています。息たえだえに登りつめた頃、美しい開閘岳が心をやしてくれま。 (作者)

かいも堀い 甘いパシより そつ想う
(唱) ぶとがばんとが 専ら呑んほう

船人めし CM大賞も グランプリ
(唱) 盆と正月が いっどき来ろそな
もう少し 言えずに走い 帰り道
(唱) 泊まつてもえば よがるそなもんに
満月が 月に二度とは たまがった
(唱) ブルームーンンは こなもんぢやら

謎掛け
「にしめ」とかけて なんととく
「論文」ととく、 そのころは?
※右が左下に答え

■投稿は総務課秘書広報係 TEL72-1111(内線211)
■俳句や狂句の投稿を募集しています。来月号の兼題は「月」

南溟館 イベント情報

開 9:00～17:00
※入館は16:30まで
休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問 TEL72-9998

風の芸術展支援チャリティー三遊亭歌之介独演会

- 日時 10月24日(水) 開場＝午後6時30分、開演＝7時
- 会場 市民会館大ホール
- 入場料 前売2,000円(当日2,500円)
- 主催 風の芸術展実行委員会
- 後援 枕崎市文化協会、枕崎市老人クラブ連合会



三遊亭歌之介

市総合文化祭

【展示部門】
10月27日(土)～11月4日(日)
●南溟館 絵画(幼稚園、保育園、小・中学校、高校、一般)、水墨画、写真、陶芸
●市民会館 書道、生花、フラワーアレンジメント、学習成果作品

【芸能部門】
●会場 市民会館大ホール
●芸能祭 11月3日(土) 午前10時～
●学校音楽祭 11月8日(木)

市民の夕べ

第1部は「若い世代への伝承」をテーマに市文化協会加盟団体によるステージ。第2部は湧水町立吉松中学校マンドリン部OB/OGグループによるステージ。
【特別出演】マンドリン・アンサンブル・Felice in 枕崎～湧水町よりマンドリンの音色と心地よいハーモニーをお届けします

- 日時 11月2日(金) 開場＝午後6時30分、開演＝7時
- 会場 市民会館大ホール
- 入場料 無料

新刊紹介



●空飛ぶ広報室 有川浩(著)
○はぶじゃぶじゃん ますだゆうこ(ぶん) 高島純(え)

注目本
●寝たきりにならない食事の本 /宮田重樹(監修) 牧野直子(料理)
○おおかみこどもの雨と雪 /細田守(原作)
●一般書 ○児童書

ホームページ(市からのお知らせ)に、すべての新着本の情報を掲載しています。ぜひご利用ください。
※図書館内掲示板(玄関前)、1・2階カウンターの新着本リストでもすべてご覧いただけます。

★雑誌リサイクルデー

保存期間の過ぎた雑誌(平成22年1月～6月分)を差し上げます。
日時 10月22日(月) 午前9時30分～

第66回読書週間 標語「ホントノキズナ」

人と人との結びつきが大事なように、本と人との結びつきもまた重要なものです。「家族のキズナ」本展開催期間 10月27日～11月9日
図書館では新刊書やこれまで話題になった本を中心に、「家族愛」をテーマに本を集めて展示します。

第26回選定「よい絵本」

全国学校図書館協議会が選定する「よい絵本」。学校や家庭、地域での子どもたちへの読み聞かせや、絵本をすすめる際の選書の手がかりとなる優れた絵本が選ばれています。
市立図書館には、選定された253点全てそろっています。ぜひご利用ください!

図書館 だより No.246

市立図書館 ☎ 72-9254
★開館時間 9:30～18:00

カレンダー 10月10日～11月9日

日	月	火	水	木	金	土
			10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	

休館日 ★イベント
○おはなしのへや 午後3時～(絵本と紙芝居の読み聞かせ)